

目 次

- ・平成 23 年度 大学・大学院入学式 ……3
- ・学長訓辞 学長 川添 堯彬 ……3
- ・理事長式辞 理事長 川添 堯彬 ……4
- ・平成 23 年度 専門学校入学式 ……7
- ・学位・博士（歯学）授与報告 ……7
- ・平成 23 年春の褒章・叙勲受章者 ……7
- ・3名の中国人留学生が大学院に入学 ……8
- ・平成 22 年度 事業報告 ……8
- ・平成 22 年度 監事監査報告 ……17
- ・平成 22 年度 決算報告 ……18

- ・平成 23 年度 解剖体慰霊祭 ……22
- ・寄 贈 ……22
- ・薬物乱用防止講演会開催 ……22
- ・歯の衛生週間「カバの歯磨き」 ……23
- ・神原教授の基調講演が読売新聞に掲載 ……23
- ・松本教授 KBS 京都テレビに出演 ……23
- ・平成 23 年度 学内研究助成金 ……24
- ・創立100周年記念事業募金・寄付報告 ……25
- ・人 事 ……31
- ・あとがき ……39



平成23年度入学式（平成23年4月5日）

平成23年度 大学・大学院入学式

4月5日(火)午前10時から楠葉学舎大講堂において、平成23年度大阪歯科大学ならびに大学院の入学式が開催された。開式に先立ち、このたびの東日本大震災に対し1分間の黙祷をささげた。最初に、川添堯彬学長から大学128名、大学院30名(中国人留学生3名を含む)の入学許可の伝達が行われ、入学者を代表して石川さとるさんが入学生宣誓を読み上げた。

川添学長の新入生への訓辞のあと、特待生の表彰が行われ、最後に学友会により学歌が斉唱され、新入生を歓迎した。



学長訓辞

学 長 川 添 堯 彬

先日3月11日に起こりました東北地方・太平洋沖大地震で亡くなられた方々へ深く哀悼の意を表します。また被災された多くの方々にお見舞い申し上げます。



本日、大学入学生、大学院入学生にとって共に、この日が新しい環境、社会へ向けての決意と誓いのときであり、新たなスタート地点であります。

そしてまた、入学生のご父兄保護者、ご家族の方々に取りましても今日の日が、期待と願いをこめた出発

の時と胸に刻んでおられることと拝察いたします。

まず、大学入学者128名の諸君に申します。諸君らは全員、いまここではっきりと誓ってください。僕は、私は決して迷わず、必ず歯科医師になるのだと肝に命じて欲しいのです。

諸君らはこれからの人生行路において漠然とでもファイナルゴールとしての最終目標を心に描くと思います。しかし、まだ目標を立てていない人もいられるかもしれませんが、なんら遅れている訳ではありません。いまはまだ、6年後に必ず歯科医師になる、という誓いだけで結構なのです。そして与えられた今日という一日を大切にしてください。

今年の新入生128名の中で、私の心に深く印象に残った人がいます。I君のご実家は栃木県の真岡市にあります。その中の公立高校の現役生でした。彼は歯学部の多い東京圏の大学を一切受験せず、専願で本学を目指したので目に止まりました。後に分かったのですが、I君の志願動機は本学が打ち出しているSciences, Arts and Hearts「専門知識、医療技術、そして思いやりの心」という人間性重視の教育方針と「学生の国際交流」に力を入れているという2点に特に魅かれたそうです。これは正に本学創立時の建学の精神である「博愛・公益」の大志(こころざし)につながるものと思います。I君の将来の飛躍が楽しみです。

さて、大学院へ入学されました30名の皆さん、本日は誠におめでとうございます。本学では今年から「三つの力(りょく)の追加目標」を掲げましたので、大いにこれを目指してほしいと思います。

- 一、学生の国際交流の増強
 - 二、大学院力の増強
 - 三、研究力の向上
- の3つです。

もう1つ、今年から大学院入学生30名の中に3名の中国からの大学院留学生が加わりました。また学部には韓国からの留学生が入学され、共に本学のこの「三つの力(りょく)の追加目標」を目指して、日本との交流を増強して頂きたいと希望します。大学院の方々にも大志を抱き、本学の建学精神「博愛・公益」へ向けて、努めて頂きたいと存じます。

以上、学長の訓辞といたします。

理事長式辞

理事長 川添 堯彬

忘れもしない3月11日の午後、未曾有の大震災が起こって未だその全容は終結しておりません。

本学におきましては、震災のあった11日のわずか3日後に、本学の教職員のあちこちから私のところに緊急救援・支援をしようじゃありませんかという要望が次々と寄せられました。

さらに私を感動させたのは、現役の4学年の学生3名が私のところに3日後に参りました。

「僕たちにも緊急支援をやらしてください。街頭に立って義援金の募金もします。あるいは何か救援物資を送りたい。あるいはボランティア活動にも参加したい。この3つの今思い浮かぶものをやらしてください。」

彼らはそれぞれ自分の授業のこともありますので、すべてを直接支援にあたらせることはできませんが、親御さんと相談の上、できることから、後方支援でもいいから、この地から遙か東北地方に向けてこれらを行うことを許可いたしました。

そして早速、本学では教授会・理事会に諮りまして、3月13日から3月31日までを第一次緊急支援ということで、最も求められていた義援金募金を学内で実施し、日本赤十字社へ宛てて送りました。その後、さらに救援物資をこの半月の間に用意いたしました。

さらに遺体確認作業の依頼がありましたが、本学から4人も申請しました。全国で120名が応募したと聞いていますが、そのうちの4名が本学の教員でした。

やはりこれぞ医療系の大学に身を置く者として当然といえば当然かも知れませんが、しかしそうすぐにみんなができることではないということも知っております。こういった救援や支援を始めとして、本学はさらに4月以降、次の展開で長くなりそうな被災の終結に向けて、できるだけの努力をみんなで呼びかけたいと思います。

本日、大学ならびに大学院に入学されたそれぞれ128名と30名の方々に両方合わせてこの式辞の言葉を、一部繰り返しになりますが贈りたいと思います。



本学は1911年（明治44年）に創立されました。今年でちょうど2011年は100周年を迎える伝統のある大学であります。

あなた方も今日から我々とともに諸先輩の築かれた大学愛・母校愛、そして同窓としての絆を汚すことなく受け継いでいくわけでございます。

本学の創設者であられる藤原市太郎先生は、明治44年12月12日に大阪歯科医学校を創立されました。その当時日露戦争が終結して数年後でしたので、まだ世の中は経済的にも緊縮状態であったと思います。そのなかで、藤原市太郎先生はこの大学を創立されたわけにあります。

先生は「学校経営は営利にあらず、博愛と公益に努めること」という言葉を残されていますが、これは後に2代目の理事長でありました古川賢治先生に、この言葉だけは受け継いでいってほしいとバトンを渡された大変尊い、また貴重な建学精神であります。

そして私は、この100周年の記念事業の中で発見しましたのは、100年経ってこの言葉はこれほど輝いて、またこれほど有益で私たち学ぶ者の心を勇気づけてくれる言葉はないのではないかと。

非常に崇高で、どこの国へ行っても胸を張れる博愛の精神であります。マザー・テレサの博愛の精神を思い出すまでもなく、これは本学に脈々と続いていることを実感するわけであります。

どうか皆さんも、これを少しでも実践に向けて活動するとともに、また後輩にこれを引き継いでいただきたいと思っております。

この言葉は、まさに学部学生諸君にとりまして、大学院生諸氏にとりまして、時や国を超えて通じるものであると思っております。これほど崇高で誇れる言葉は他にありませんか。

とても私たちはこれをすぐには達成できそうにはありませんが、すこしでもそちらへ向かって進む大志（こころざし）を持ちたいし、そのような崇高なスピリットであると思っております。

この精神を、今私も大切に守り続けたいと胸に銘記しているところであります。どうかこのことを諸君たちはこの6年後あるいは4年後も、どうかお忘れの無いうように進んでいただきたいと思っております。

以上、理事長式辞といたします。





平成23年度 専門学校入学式

4月7日(木),大阪歯科大学歯科衛生士専門学校ならびに歯科技工士専門学校の入学式が開催された。歯科衛生士専門学校に入学した専門第37期生54名,歯科技工士専門学校に入学した第48期生19名ならびに歯科技工士専攻科の第32期生1名に対し,末瀬学校長から入学許可が宣された。



末瀬学校長は,新入生74名にAC(旧公共広告機構)の広告「心は見えないが心づかいは見える。それは人に対する積極的な行為だから」(詩人・宮沢章二)を引用して,心の思いを一步踏み出す勇気をもち行為に移すことの大切さを述べた。在校生から歓迎の辞があり,新入生が入学者宣誓を述べた。



学位・博士(歯学)授与報告

西村 有祐 乙第1556号 (平成23年6月22日)

学童期口腔健康レベル評価法の確立

高橋 敏史 乙第1557号 (平成23年6月22日)

Measurements of eicosanoid and inflammatory cytokines in rats with spontaneous periodontal disease(自然発症歯周病ラットのエイコサノイドおよび炎症性サイトカインの測定)

辻 洋一 乙第1558号 (平成23年6月22日)

Changes in salivary stress markers under experimental xerostomia in the rat(実験的口腔乾燥症における唾液中ストレスマーカーの変化)

吉野修一郎 乙第1559号 (平成23年6月22日)

Effects of injection of botulinum toxin on nNOS in the rat submandibular gland(ボツリヌストキシンの導管内注入によるラット顎下腺の nNOS への影響)

加茂野太郎 乙第1560号 (平成23年6月22日)

Study on selective removal of caries using laser absorption properties(レーザーの色吸収特性を用いたう蝕の選択的除去に関する研究)

山口 貴史 乙第1561号 (平成23年6月22日)

インプラント体周囲骨欠損の新生骨形成過程におけるβ-TCPおよび多血小板血漿(PRP)の影響

銭 玉芬 乙第1562号 (平成23年6月22日)

Effect of application of calcium phosphate cement on titanium screw mini-implants in the cortical bone of dog femurs(チタン製ミニインプラント埋入初期の骨形成に及ぼすリン酸カルシウム骨セメントの影響)

平成23年 春の褒賞・叙勲受章者

平成23年春の褒賞・叙勲において,大阪歯科大学関係者として以下の先生方が受章されました。

褒 章

大学 19 回 村上 英夫 兵庫県 藍綬褒章

叙 勲

専門 32 回 高木 順彦 奈良県 瑞宝中綬章

大学 8 回 古跡養之眞 大阪府 瑞宝中綬章

大学 12 回 椿本九美夫 奈良県 旭日双光章

大学 14 回 岩田 明 京都府 旭日小綬章

3名の中国人留学生が大学院に入学

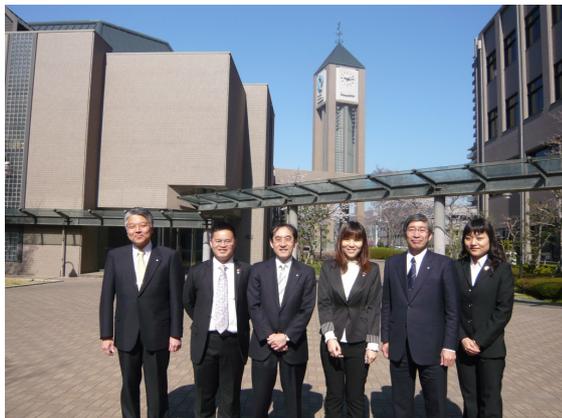
大阪歯科大学では、川添学長が大学院充実の一環として積極的に海外からの留学生を受け入れる方針を示してきたが、平成23年度の大学院入学試験・外国人留学生特別選抜において3名の中国人留学生が見事に合格し、4月5日の入学式に出席した。

外国人留学生特別選抜による留学生の受け入れは、川添学長の意向を受け、大学院歯学研究科と国際交流部が連携して準備を進めてきたが、特に交流協定校が多い中国に関しては国際交流部委員の方 一如先生が本学大学院の教育システムの広報に尽力された。

その結果、南方医科大学口腔医学院の魯さんが歯科保存学、四川大学華西口腔医学院の廖文さんが歯科矯正学、西安第四軍医大学口腔医学院の邢鶴林さんが欠損歯列補綴咬合学をそれぞれ受験し、合格した。母国では3名とも成績優秀であり、本学大学院での研究が期待されている。



川添学長とともに右から魯さん・邢さん・廖さん



平成22年度 事業報告

— はじめに —

平成22年度は、記念すべき創立100周年を翌年に控え、その推進力を高める重要な年と位置づけ、事業計画の基本理念として「大阪歯科大学力のアップ」ということを掲げた。すべての事業計画がこの「大学力」という言葉につながり、集約されるよう取り組んできた。具体的には、ここ数年掲げてきた事業計画を精査することにより、本学にとってより重要度の高い課題を浮き彫りにし、改めて事業計画として取り上げた。

特別重点計画として掲げた創立100周年記念事業については、①記念式典、②発祥地・記念碑設置、③記念事業募金、④天満橋学舎・講義室自習室建設、⑤出版物刊行（100年史）、⑥記念講演会・公開講座の当初の計画に、⑦歯科医学の歴史的資料の収集を追加し、7本柱とした。それぞれの準備グループにおいて、リーダーのもと記念事業の具体化に向けた取り組みが進んでおり、本学理事会において進捗状況を集約し、必要に応じ検討・調整を行い、指示を発信している。

教学においては、従来の「5つの力の目標」を基本にその徹底を図り、学生の学力の向上を目指したが、私立歯科大学・歯学部を取り巻く状況は厳しさを増している中で、事業計画の細目で示した教育課程の節目での学生の学力チェックの強化とその相互連携が重要である。

教員人材の育成については、専任教授制度や海外留学経験者特別採用制度など新しく設けた制度が具体化

しており、今後、教員人材の育成につなげていきたい。また、教員人材育成の中心となる大学院の充実が重点的に取り組んでおり、成果が上がりつつある。

大学、病院、専門学校を運営していく上で重要な財政基盤の確立・安定化については、給与改革と経費削減方針により10数年にわたる財政の悪化は食い止められ、単年度での収支の均衡化・安定化が図られた。特に附属病院の収支改善・改革が財政安定化の鍵を握っており、重点課題としてきた。教職員の改善・改革への意識も浸透してきており、成果も徐々に現れてきている。

今後も、本学にとって厳しい状況が予想されるが、教育においては建学の精神である「博愛と公益」を基本に据え、社会に役立つ歯科医師の育成を目指すとともに創立100周年という大事業に向け、教職員が一致団結して協力態勢を整えていくことが大切である。

平成22年度は、本学創立100周年記念事業の準備グループの活動も行われる中で、従来の「五つの力の目標」を基本に以下の諸事業を行った。

I. 教 学

学力の向上

II. 教員・大学院・研究

教員人材の育成

III. 財務基盤の確立・安定化

附属病院の収支改善

IV. 教員組織の制度改正

教員力、教育力の向上

V. 情報化・IT化

平成21年度の事業計画の継続、推進

VI. 両専門学校の将来像

平成21年度の事業計画の継続、推進

VII. 特別重点計画

創立100周年記念事業の推進、具体化

I. 教 学

・学力の向上

1. 入試倍率のアップ
2. 歯科医師国家試験合格率のアップ
3. 第4学年末での学力点検
4. カリキュラムの学年制化の推進
5. CBT学力と学士試験学力の向上

6. 第5・第6学年を天満橋学舎で教育

○本学の平成23年度の入試結果

本学は、本年度の事業計画の基本理念として「大阪歯科大学力のアップ」を掲げ、その核心を学生の「学力の向上」に置き、そのため入試段階で優秀な学生を確保することを重点課題とした。リクルート進学ネットに大学案内を展開するとともに、学外ホームページの充実にも努めた。平成23年度の大学学部の入試志願倍率は、2倍を超えた。

入試選抜方法については、推薦入試に指定校制度を取り入れるなど努力しているが、今後は受験生確保の視点と国家試験合格率の視点の両面から見ていくことが重要であり、入学後の学生のフォローアップを行い、学生一人ひとりの学力を常に把握するべく努めることとしている。

入学生確保の施策であるオープンキャンパスは、平成22年5月30日（日）、7月26日（月）、8月24日（火）、10月30日（土）（大学祭と併催）の計4回開催され、受験生・保護者等の参加者は、総計延べ221名であった。

なお、新入生オリエンテーション、オープンキャンパスなどの行事に参加するスチューデントアシスタントとして、学部学生18名（第1学年2名、第2学年8名、第3学年4名、第4学年4名）が採用されており、本学での学生生活における様々な経験を生かして活躍している。

○第104回歯科医師国家試験の結果

国家試験合格率については、第104回歯科医師国家試験の合格者数・合格率は新卒者で105名が受験し83名が合格し79%であった。新卒者の全国合格率は81.8%で、私立歯科大学・歯学部だけでは78.5%であった。既卒者を含めた総数では、本学は172名が受験して114名が合格し合格率は66.3%、全体では3,378名が受験し2,400名が合格し合格率は71%であった。

○その他の重点計画

—学部・大学院教育—

第1学年においては、4月入学当初の「新入生研修」、ゼミナール形式の「学長と語ろう」、本学附属病院での「早期臨床体験学習」、大阪府下の社会福祉施設における「社会福祉施設体験学習」などを効率的に実施し、本学の教育システムに適応できるように初年次の

学生の資質の向上を図った。

第2学年から第4学年の間の学修の成果を図るべく、第4学年末での学力点検や、次年度以降へのカリキュラムの学年制化の検討、CBT学力と学士試験学力の向上という諸課題については、担当の各先生方に鋭意努力していただいております、成果が上がってきている。

第5・第6学年の天満橋学舎での教育については、平成22年5月から天満橋学舎西館3階に自習室を設置し、機能的な学習環境の充実を行った。創立100周年記念事業の柱である創立100周年記念館（仮称）建設により、一層の整備を図っていくものである。

本学図書館では、学生の学習機会の拡大充実のための取り組みとして、開館時間の延長を継続している。なお、2012年版『大学ランキング』（朝日新聞出版）の中で、歯学系図書館における学生一人当たりの貸出冊数は、私立歯科大学・歯学部の中で第1位＝Aランク（17.3冊）である。

平成22年度のスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（SCRIP）日本代表選抜大会において、第5学年2名が優勝したことは、歯科関係紙（日本歯科新聞）などで大きく報じられた。

学生が受賞した研究テーマの発想を生んだのは、本学の教育システムすなわち「カリキュラム2000」にある①態度教育、②基礎科学教育、③生命科学教育、④健康科学教育、⑤情報科学教育、⑥英語教育、⑦教養教育の成果であるとともに、学生個人の研鑽の賜物であり健闘を称えたい。（附属資料参照）

国家試験を控えた第6学年に対しては、本学教員（教授、准教授、講師）、本学客員教授を特別アドバイザー32名として配置し、試験に向けた学修サポート体制を充実させた。

在学生の態度規範向上について、本学教員が学生の朝の登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを本年度も継続した。

また、昨年度からの継続事業として、外部講師（枚方警察署警部補・山根一雄氏）を招き、薬物乱用防止講演会を平成22年6月25日（金）に開催した。（参加者：第1学年から第4学年、教職員を含む約500名）

平成23年2月に川添堯彬学長が、平成23年10月からの学長に再選され、平成22年度から平成23年度にかけて現行カリキュラムの改定を含め、継続して多様な教学改革を推進することとなった。これに先立ち、平成

23年1月には、新たな目標として、「三つの力の追加目標」を定めた。すなわち、

- ①学生の国際交流力増強
- ②大学院力の増強
- ③研究力の向上

の3項目である。すでに本年度から実行に移されているものがあるが、今後、資金面を含め積極的な支援を検討することとしている。

—学生間の国際交流—

我が国のグローバル化の進展とともに、各大学の海外の大学との相互交流が盛んである。本学も教育研究の充実発展のために積極的に学生の交流支援に取り組んでいる。平成22年度の本学の学部学生の交流としては、南方医科大学、シドニー大学歯学部、コロンビア大学歯学部の3大学であり、概要は、次のとおりである。

・受入

大学名	期 間	受入人数
南方医科大学	平成 22 年 6 月 15 日～21 日	学生：11名 教員：2名
シドニー大学 歯学部	平成 22 年 12 月 13 日～18 日	学生：6名

・派遣

大学名	期 間	派遣人数
コロンビア 大学歯学部	平成 22 年 7 月 16 日～27 日	第3学年5名 第4学年6名 引率教員3名
シドニー大学 歯学部	平成 22 年 8 月 4 日～16 日	第3学年4名 第4学年4名 引率教員3名

大学院の入学者はここ数年、定員を下回っていたが、平成23年度入試においては、受験者確保の観点から入学金を引き下げなどの施策、外国人特別選抜入試を実施したこともあって定員の30名を充たすことができた。外国人留学生特別選抜入試では、海外から初めて中国から3名の合格者があった。（南方医科大学口腔医学院、四川大学华西口腔医学院、西安第四军医大学口腔医学院の3大学からそれぞれ1名である。）

これら院生が、大学院活性化と学術交流の発展へ寄与するものと期待している。日中両国の架け橋としての第一歩としたい。

II. 教員・大学院・研究

・教員人材の育成

1. 大学院の充実・強化と人材育成
2. 教員採用・昇任基準の規程改正と運用
3. 専任教授制度による人材登用
4. 海外留学経験者特別採用制度の規定化

○教員人材の育成

教育、研究に関しては、教員人材の育成を主眼に取り組んできた。学生を教える力・育てる力、いわゆる教育力は、教育機関においては最も重要な要素である。本学のように学生の将来の職業と教育とが直結している機関では、さらに教員の教育力のもつ重要性は高く、学生が将来、歯科医師として社会に貢献できるかどうかは、人格的な面も含めて教える教員の影響を大きく受けている。

大学院については平成18年に、また大学については平成19年に、設置基準の改正が行われ、いわゆるFD（ファカルティ・ディベロップメント）について、これまで努力義務であったものが、義務化となった。

FDは、「各大学が組織的に実施することを義務付けるものであること。これを踏まえ、各大学においては、授業の内容及び方法の改善につながるような内容の伴った取組を行うことが望まれること」とされている。

（文部科学省通知）

すなわち大学院設置基準の第十四条の三には「大学院は、当該大学院の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」となっており、また、大学設置基準の第二十五条の三には同様に「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」となっている。

本学教員の資質向上に向けては、学部、大学院ともにFD研修会が行われている。平成22年度は、学部で5回、大学院で1回開催されている。日程・テーマ等は次のとおりである。

[学部]

- ・第1回
平成22年4月27日（火） 会場：天満橋学舎
参加者 77名 内部講師
テーマ「CBT問題作成のポイント」
- ・第2回
平成22年5月11日（火） 会場：天満橋学舎

参加者 62名 内部講師

テーマ「歯学系OSCEの現状」

・第3回

平成22年8月21日（土）会場：楠葉学舎

参加者 32名 テーマ「多様化する学生への対応」

講師：日本マイクロカウンセリング学会研修委員

委員長 鈴木 祐弘氏

委員 大西 靖子氏

・第4回

平成22年10月9日（土）会場：楠葉学舎

参加者 76名 テーマ「授業の基本」

講師：滋賀県立大学環境科学部教授 倉茂 好匡氏

・第5回

平成23年1月21日（金）～22日（土）

会場：ホテルコスモスクエア国際交流センター

参加者 35名 テーマ：「歯学系CBT問題作成に関するワークショップ」

講師：（社）医療系大学間共用試験実施評価機構

小口 春久氏（日本歯科大学東京短期大学長）

五十嵐順正氏（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）

[大学院]

第1回のFD研修会が次の日程で行われた。

平成22年8月20日（金）午後3時 楠葉学舎

66名出席（大学院生7名、教員59名）

「歯学系大学院の問題点－改革に向けて－」

講師 森田育男氏（東京医科歯科大学副学長、研究担当理事）

教員力をもった教員を生み出す機関が、大学院であり、大学院の充実・強化を図ることが教育力、研究力のアップにつながる。今後も教育方法の改善に貢献できる内容の設定に努力しなければならない。

平成21年から平成22年にかけて教員組織上の諸規程の施行と改正（定員等に関する規程、教員選考規程等の施行と改正）があり、新たに専任教授職が置かれることになり、また歯科東洋医学室、歯科医学教育開発室、人権教育室が発足し、それぞれ専任教員が配置された。

海外留学経験者特別採用制度については、平成21年9月に海外留学経験者の特別採用に関する規程が制定

—その他の活動—

○地域社会との交流

今年度も市民を対象とした公開講座（テーマ：「最新の歯科疾患診断からわかるあなたの健康」）を開催した。

また、市民へのグラウンド、テニスコートの開放、枚方市又は枚方青年会議所主催のシンポジウムなどに本学講堂を提供するなどの地域貢献の他、枚方市所在の近隣6大学（大阪工業大学、関西医科大学、関西外国語大学、大阪国際大学、摂南大学薬学部、本学）で構成される枚方市との連携活動である学園都市ひらかた推進協議会や、大阪府下の大学で構成される大学コンソーシアム大阪の取り組みに参加した。

Ⅲ. 財政基盤の確立・安定化

・附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 各要因からの増収計画の実践
3. B/C考慮の支出、経費の見直し
4. 各部署の収支改善策を提案、実行

○財政基盤の確立と附属病院の改善・改革

法人の財政については、教職員の協力を得て給与改革、経費削減に取り組んだ結果、慢性的な赤字傾向にストップがかかり、平成20年度、平成21年度ともに均衡化した収支状況となり、平成22年度決算においても、収支の均衡化が保たれている。このような状況を維持するためには、財政基盤を安定化させることが不可欠であり、収支均衡化への努力が求められている。これが崩れると運営に支障をきたす事態を招くこととなる。

現状では、赤字体質にある附属病院の収支改善を図ることが、法人の財政安定化の鍵を握っている。附属病院の立地条件、設備、人材等を考慮すると、その潜在能力が十分に発揮されているとは言えず、担当理事からも改善・改革に向けた提案、指摘がなされてきた。教職員にも改革への意識が浸透し、成果が出てきているので、引き続き病院全体として共通の認識に立ってさらに改革を進めていかなければならない。

財政基盤の安定化に大きな影響力を持つ人件費については、指標となる人件費比率が他大学と比べても遜色のない水準にあると考えられる。

なお、平成21年度から導入された病院医員制度は、順調に運用されており、さらに、平成22年9月に臨床系

の教員、医療嘱託を対象に、新たに診療報酬手当として規程を整備して創設し、各人のモチベーションの向上と医療収入の増加が図られている。

○附属病院の取り組み

地域医療に貢献する附属病院として、従来からの各診療科における活動に加え、平成21年度から設置された「7つの専門外来」（ドライマウス・ドライアイ外来、息さわやか外来、白い歯外来、顎関節外来、口腔腫瘍外来、顎変形症外来、唇顎口蓋裂外来）、先進医療の歯周外科、臨床研修教育、本学附属病院と歯科医院との病診連携など、総合医療機関としての役割を展開している。

平成22年9月には、一般社団法人日本がん治療認定医機構から、同機構の認定研修施設に認定され、一層地域社会の中核病院としての力量が発揮されることとなった。なお、患者サービスの向上を図るべく薬剤の院外処方の導入を検討し、平成23年4月から実施することとなった。

・沖縄県巡回診療

厚生労働省の要請による沖縄県（八重山郡竹富町波照間島）への歯科巡回診療が、平成22年10月5日から28日までの間（日曜・祝日を除く）に19日間にわたり行われた。初診患者143名、延べ再来患者395名、総処置件数は1090件であった。また、歯科衛生教育を成人、小中高生、幼稚園・保育園児、乳幼児などを対象に実施した。

・歯科医師の派遣

社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）へ歯科医師の派遣を行った。白浜アドベンチャーワールドへは動物歯科検診を行った。

・臨床研修教育

平成18年度から必修化された歯科医師臨床研修教育について、本学附属病院は制度発足当初から取り組んでいる。

平成22年度の歯科医師臨床研修修了者は、129名（プログラムS32名、プログラムC97名）であった。なお、平成22年度のプログラムC研修歯科医1名については、追加研修となり平成23年4月28日修了となった。前年度

に引き続き、臨床研修歯科医症例報告会が開催され、優秀者に病院長賞、優秀賞が授与された。

また、臨床研修歯科医受入施設62施設の指導医師89名に対して本学臨床講師の称号が授与された。

・病診連携講習会

本学附属病院と地域の歯科医院との連携を強化する観点から、平成23年3月26日（土）に開催された。（講習会出席52名）

・地域医療連携室の設置

再構築に向け平成21年度から検討を進めてきたが、平成23年4月に設置することとなった。

・医療安全講習会、院内感染対策講演会

医療安全、院内感染防止に関する取り組みは、昨年度に引き続き、本学教員医療職員の他、外部講師を招いて積極的に実施されている。

- ・「医療安全のための研修」（合計6回）
- ・「院内感染防止対策のための研修」（合計9回）
- ・「医薬品安全のための研修」（合計3回）
- ・「医療機器安全使用のための研修」（合計2回）

○平成22年度における私立大学等経常費補助金

一般補助と特別補助を含めて総額436,904,000円であった。上記金額の内、140,104,000円が特別補助である。その内容は、

- 教育・学習方法等改善支援（図書館関係）
- インターンシップの推進（社会福祉施設体験学習）
- リサーチ・アシスタント支援（大学院関係）
- 研究施設支援（中央歯学研究所）
- 戦略的研究基盤形成支援事業（ハイテク・リサーチ・センター整備事業）
- ICT活用教育研究支援（学術情報ネットワーク、電子ジャーナル）

など多岐にわたっている。

○平成22年度の施設設備関係整備工事

天満橋学舎において、下記の工事が行われた。

- ①中央監視盤更新工事
- ②南館受電設備更新工事
- ③西館3階自習室改装工事
- ④附属病院MRI（GE社製「Signa HDxt」）更新工事

⑤附属病院MRI更新附帯工事（画像配信基盤工事）

IV. 教員組織

・教員力、教育力の向上

1. 教員評価

2. 教員評価調査票と授業評価表

○教育力の向上と教員評価

教員評価は、平成21年度に試行期間としてすでに実施しており、教員評価調査票による客観的な評価、授業評価表による学生の評価を通して教育、研究、臨床における自らの姿を再認識してもらい、それをもとにさらに教育力、研究力、臨床力をパワーアップしてもらうことが教員評価の主眼としているところである。平成22年度から本格的に実施したが、その集計結果を待って、評価はネガティブな方向ではなく報奨、顕彰する方向で検討したい。

V. 情報化、IT化

・平成21年度の事業計画の継続、推進

○平成22年度の事業

情報化、IT化については、平成22年度は、前年度の事業計画を継続して推進した。平成22年度私立大学等経常費補助金特別補助では、高度情報化推進メニューのICT活用教育研究支援で補助金を獲得し、学内情報基盤の充実を図った。ネットワーク機器等の更新、セキュリティ対策を教育情報センターで一元的に行うこととし、また、平成22年度以降の継続事業としてマイクロソフト包括ライセンス契約を実施し、費用削減が期待されている。

また、学生に対するモバイルサービスの継続、学術情報ネットワーク、電子ジャーナルについて、その充実を図った。

学外ホームページについては、文部科学省により平成23年度から教育情報公開が義務化されることになるため、それに準じた教育情報の公開を進めた。この情報公開は国の補助金交付の対象となる。また、創立100周年のページを立ち上げ、記念事業の概要や募金状況、プレ100周年行事の様子を発信している。オープンキャンパスの案内など学外ホームページは活用されるようになってきているが、アクセス数の多い附属病院など

のコンテンツの充実と情報発信が課題となっている。
平成22年度は、本学ホームページに32件の新着情報が掲載された。

VI. 両専門学校の将来像

・平成21年度の事業計画の継続、推進

歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校では、①担当教員により高等学校訪問、②学校説明会の開催、③広報活動の展開（リクルートの進学ネット、ポスターなど）により、志願者の確保に努力している。

歴史と伝統ある専門学校として、歯科技工士・歯科衛生士の国家試験合格率は、ともに好成績を維持している。

平成22年4月に本学理事会のもとに専門学校の大学・短大化に関する検討委員会が発足し、準備方策等の検討を開始したところである。

18歳人口の減少と専修学校への志願者減少という事態を踏まえ、今後、他大学設置の短期大学の先行事例を調査し、歯科総合学園として歴史ある本学にとって、相応しい両校のあり方を慎重に審議することとしている。

VII. 特別重点計画

・創立100周年記念事業の推進、具体化

1. 創立100周年記念事業常任委員会および実行委員会の設置

2. 記念事業の柱

- ① 記念式典・祝宴・慰霊祭 2011年11月11日(金)
- ② 本学発祥の地記念碑設置
- ③ 記念事業募金
- ④ 講義室・自習室建設
- ⑤ 大学100年史・大学院50年史(出版物)
- ⑥ 記念講演会・公開講座
- ⑦ 歯科医学の歴史的資料(史料)収集

3. 第22回日本歯科医学会総会(2012年11月9日～11日)への準備

○創立100周年記念事業

平成22年度事業計画の特別重点計画として、創立100周年記念事業の推進・具体化を挙げた。記念事業は、平成21年5月28日の企画委員会で骨子を決定し、理事会承認を得て同年11月11日に発足した「創立100周年記

念事業常任委員会・記念事業準備グループ」がそれを引き継ぎ、各グループにおいて準備を進めてきた。記念事業は、上記①～⑦の6つの柱でスタートしたが、「歯科医学の歴史的資料(史料)の収集」を追加し7つの柱となった。

平成23年度はいよいよ「創立100周年記念事業実行委員会」を発足させ、各記念事業の進捗状況を集約し、検討・調整を行い、記念事業全体を取りまとめるとともに、記念事業の実施に向けてさらに推進力を高めている。

これまでの各記念事業準備グループ会議の進捗状況は次のとおりである。

① 記念式典・祝宴・慰霊祭

平成23年11月11日(金)に開催される記念式典等に必要な業務全般について、日本コンベンションサービスと契約し進めている。今年度は、主に記念式典等のタイムスケジュール、招待者、記念品、係員の配置等について検討した。広報関係では、ロゴマークおよびマスコットキャラクターを決定し、楠葉学舎、牧野学舎に創立100周年記念の横断幕、附属病院に垂れ幕を設置した。

② 本学発祥の地記念碑設置

本学は明治44年に大阪歯科医学校として設立されているが、その発祥の地である現在の福島区野田4丁目に記念碑を建立すべく活動している。大正時代の本学が記載された地図を発見し、発祥の地が特定できたので、候補地をその付近の野田公園内に決定し、管理者である大阪市と折衝を進めている。記念碑は、本学の名前を記したいわゆる記念碑と碑文を記したものを並列して設置する予定にしている。

③ 記念事業募金

創立100周年記念事業「募金趣意書」を作成し、平成22年12月に同窓生、保護者、教職員に郵送したのを始め、平成23年2月までにすべての募集対象者に約1万4千通を郵送し、また直接訪問し寄付を依頼した。募集要項は下記のとおり。

(募金目的) 大阪歯科大学天満橋学舎「100周年記念館(仮称)」建設事業募金

(募集対象) 同窓会会員、学生・生徒の保護者、教職員、関連の個人および法人・団体

(目標額) 5億円 (個人～一口2万円, 法人・団体～一口10万円)

(募集期間) 平成22年11月1日～平成23年9月30日

平成23年3月31日現在での寄付金額は,

・個人525件 39,056,000円

・法人・団体27件 26,365,000円

合計65,421,000円であった。芳名録は永久保存版を作成する。なお、一定額以上の寄付者には、創立100周年記念館(仮称)内に寄付者銘板を掲げる。

④ 講義室・自習室建設

準備グループで検討された内容を建設委員会が引き継ぎ、創立100周年記念館(仮称)建設に向け検討を進めている。

⑤ 大学100年史・大学院50年史(出版物)

大学100年史および大学院50年史については、記念式典後1年以内の刊行を目指している。大学100年史は、既刊の「大学史1・2」をもとに70年間をダイジェストにしてまとめ、直近30年間については各種資料をもとに章立てを行い、原稿を作成することになっている。大学院50年史は、通史の部分は大学100年史のなかで記述し、直近10年間の各講座等の業績をまとめることとした。その他、自校史を制作することに決定し、記念式典に配布することとした。自校史の原稿案はできており現在、修正・校正作業を行っている。

⑥ 記念講演会・公開講座

記念講演会は、記念式典翌日の平成23年11月12日(土)にリーガロイヤルホテル・ロイヤルホールで開催することが決まっている。講演者は、「歯科界の将来・臨床研究の方向」について理化学研究所の西川伸一氏、「日本の将来(文化人による講演)」について建築家の安藤忠雄氏に講演依頼し、承諾を得ている。今年度は、プレ創立100周年記念事業として平成22年10月に天満橋学舎で「特別セミナー・ニューヨーク大学in大阪歯科大学」、11月に大阪国際会議場で「日中韓学術大会」を開催した。

⑦ 歯科医学の歴史的資料(史料)収集

これまで牧野学舎内に収集した資料や新たに収集する資料を整理し、創立100周年記念行事の期間に合わ

せてその一部を楠葉学舎において展示する。展示場所は、4号館の史料室を想定しており、展示パネル用の原稿および写真の準備を進めている。

○第22回日本歯科医学会総会

平成24年に開催される第22回日本歯科医学会総会の主幹校として準備を進めている。平成24(2012)年11月9日(金)から11日(日)まで開催され、メインテーマは「お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—」であり、また、シンボルマークは文楽人形をモチーフにしたものが採用されている。会場は、インテックス大阪、リーガロイヤルホテル、グランキューブ大阪で、専門分科会、認定分科会によるランチョンセミナー、公開講座など多彩なイベントを計画中である。

東日本大震災に伴う本学の対応について(報告)

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災は、東北地方を中心に人的にも物的にも甚大な被害をもたらしましたことは、ご承知のことと存じます。

(この地震による本学の学生・教職員に人的な被害はなく、物的被害は天満橋学舎で建物の一部に軽微な亀裂が生じましたが、構造上の問題はありませんでした。)

3月15日に、被災された方々への理事長・学長メッセージを本学ホームページに掲載いたしました。その折、この未曾有の事態に際して、本学としての人的・物的支援を行うべく、その意志を表明しました。

3月17日からは、本学教職員向けに「第一次東日本大震災義援金」を募集することとし、3月末日までに2,946,302円の総額となり、日本赤十字社に寄託いたしました。また、3月18日には日本歯科医師会からの要請に基づき、犠牲となられた方々の身元確認のため本学歯科医師3名の派遣を決定しました。

今後、被災された方々への生活物資(歯ブラシ)の搬送、第二次の義援金の募集など、本学としてできる限りの支援を行うべく鋭意検討中であり、内容については、本学ホームページに逐次掲載させていただきます。

被災地の復興は、国民一人ひとりの願いでもありません。この願いの実現のために、大阪歯科大学は今後も協力してまいる所存ですので、ご理解のほどよろしく

お願いいたします。

《本学ホームページより》

平成23年3月11日に発生しました東北・関東大震災(東日本大震災)により、甚大な被害に遭われた皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

本学としては、被災地の皆様方へ少しでもお役に立ちたいとの考えから、義援金の募集・物資の支援などの取り組みを行ってまいります。

詳細につきましては、このホームページにてお知らせいたします。

1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年3月15日

大阪歯科大学

理事長・学長 川添 堯彬



平成22年度 監事監査報告



平成22年度会計決算にあたり、平成23年5月16日(月)、17日(火)の2日間にわたり、楠葉学舎5号館3階大会議室において監事監査を実施した。

監査を始めるにあたり、川添理事長より本学の収支状況に鑑み、財務安定化につながる監査が要請された。監査には、川添理事長を始め下村常務理事、田中常務理事、伊達理事、藤野理事、長谷山法人事務部長、中尾法人経理部長、亀山大学事務部長が立ち会った。

平成22年度監査の実施要領は次のとおりである。

1. 監査日程

第1日目 平成23年5月16日(月) 13時00分～

第2日目 平成23年5月17日(火) 10時00分～

2. 会計年度

平成22年度 平成22年4月1日～平成23年3月31日

3. 監査の範囲

(1) 一般会計に関する監査

- 1) 平成22年度の決算状況(収支計算書・貸借対照表)
- 2) 諸積立金の現状と運用

3) 経理諸帳簿・諸証券の保管と整備状況

4) 経理上経過勘定の状況

5) 各課における予算執行状況

6) その他

(2) 業務内容に関する監査

1) 附属病院の経営改善の状況について

2) 施設、設備、構築物等の保全と契約状況について

3) 教職員の勤務状況(出退勤、出張、時間外勤務)について

4) 衛生士および技工士専門学校の現況と今後の改善について

5) 各業務の事務分担と処理状況について

6) 各業務の法令遵守状況について

7) 学内LANの現況その他

4. 監査の要領

1) 平成22年度予算執行状況

2) 平成22年度業務の概要

3) その他

5. 監査の概要および監事の意見

監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人大阪歯科大学寄附行為第13条第3項の定めに基づき、平成22年度における学校法人大阪歯科大学の財産及び業務執行状況の監査を行った。

(1) 一般会計に関する監査

1) 監査の方法および監査結果

監事は理事会及び評議員会に出席するほか、理事からその業務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務及び財産の状況を調査した。また、監事は会計監査人である仰星監査法人と連携し、平成22年度の計算書類について報告及び説明を受け、財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書に検討を加えた。

学校法人大阪歯科大学の業務又は財産に関し、不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められない。財産目録、貸借対照表及び収支計算書等は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認める。事業報告書は主要な事業が記載されており、事業が適正に執行されているものと認める。

2) 各課における予算執行状況

ODU NEWS No.162

などの法人に帰属する負債とならない収入で、84億7090万円となりました。また、基本金組入額は8550万円となりましたので、消費支出に充当することのできる消費収入は83億8540万円となりました。一方、消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、83億6965万円となりました。

この結果、平成22年度決算における消費収支は、1575万円の消費収入超過となりました。

これにより、翌年度繰越消費収支差額は、前年度繰越消費支出超過額が198億7243万円であり、基本金取崩しが1億8730万円発生したため、196億6938万円の消費支出超過額計上となりました。

平成22年度資金収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)			
(単位：円)			
収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,946,890,000	4,880,030,000	66,860,000
手数料収入	41,006,000	33,358,200	7,647,800
寄付金収入	26,200,000	91,531,000	△ 65,331,000
補助金収入	619,420,000	654,419,362	△ 34,999,362
資産運用収入	421,000,000	427,215,121	△ 6,215,121
資産売却収入	0	0	0
事業収入	2,042,100,000	2,026,986,432	15,113,568
雑収入	287,544,000	332,925,802	△ 45,381,802
前受金収入	938,400,000	947,730,000	△ 9,330,000
その他の収入	1,164,036,000	1,164,817,959	△ 781,959
資金収入調整勘定	△ 1,356,523,000	△ 1,474,589,764	118,066,764
小 計	9,130,073,000	9,084,424,112	45,648,888
前年度繰越支払資金	3,398,121,965	3,398,121,965	
収入の部合計	12,528,194,965	12,482,546,077	45,648,888
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,674,522,000	4,681,255,091	△ 6,733,091
教育研究経費支出	2,011,922,000	1,951,496,611	60,425,389
管理経費支出	559,397,130	545,911,368	13,485,762
施設関係支出	157,287,000	175,876,865	△ 18,589,865
設備関係支出	299,650,000	339,518,887	△ 39,868,887
資産運用支出	1,251,502,000	1,190,844,802	60,657,198
その他の支出	328,339,000	395,779,709	△ 67,440,709
[予 備 費]	(2,240,130)		97,759,870
	97,759,870		
資金支出調整勘定	△ 279,339,000	△ 565,944,349	286,605,349
小 計	9,101,040,000	8,714,738,984	386,301,016
次年度繰越支払資金	3,427,154,965	3,767,807,093	△ 340,652,128
支出の部合計	12,528,194,965	12,482,546,077	45,648,888

(注) 予備費使用内訳

管理経費支出 報酬委託費支出 2,240,130

平成22年度消費収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)			
(単位：円)			
消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	4,946,890,000	4,880,030,000	66,860,000
手数料	41,006,000	33,358,200	7,647,800
寄付金	36,200,000	98,004,064	△ 61,804,064
補助金	619,420,000	654,419,362	△ 34,999,362
資産運用収入	421,000,000	427,215,121	△ 6,215,121
資産売却差額	0	0	0
事業収入	2,042,100,000	2,026,986,432	15,113,568
雑収入	287,544,000	350,894,519	△ 63,350,519
帰属収入合計	8,394,160,000	8,470,907,698	△ 76,747,698
基本金組入額合計	△ 196,813,000	△ 85,503,199	△ 111,309,801
消費収入の部合計	8,197,347,000	8,385,404,499	△ 188,057,499
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	4,678,328,000	4,606,720,514	71,607,486
教育研究経費	3,033,832,000	2,974,861,293	58,970,707
管理経費	769,518,130	774,922,173	△ 5,404,043
資産処分差額	0	5,967,726	△ 5,967,726
徴収不能引当金繰入額	0	6,928,000	△ 6,928,000
徴収不能額	0	259,995	△ 259,995
[予備費]	(2,240,130)		97,759,870
	97,759,870		
消費支出の部合計	8,579,438,000	8,369,659,701	209,778,299
当年度消費支出超過額	382,091,000	△ 15,744,798	
前年度繰越消費支出超過額	19,872,439,047	19,872,439,047	
基本金取崩額	0	187,309,968	
翌年度繰越消費支出超過額	20,254,530,047	19,669,384,281	

(注) 予備費使用内訳
 管理経費 報酬委託費 2,634,126

3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点における財政状況（保有する資産と負債の状況）を表示するものです。

資産の部の合計額は、593億8866万円となり前年度末に比べ、2億3999万円増加しました。これは、流動資産が現金・預金を中心に4億7815万円増加する一方、固定資産が減価償却等により2億3815万円減少したこと

によるものです。

負債の部は、前年度末比1億3874万円増加して、68億9118万円となりました。

翌年度繰越消費支出超過額は、消費収支計算書の項目で説明のとおり196億6938万円でしたので、基本金の部は前年度末比1億180万円減少して722億1965万円となりました。

ODU NEWS No.162

貸借対照表 (平成23年3月31日)			
(単位：円)			
資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	55,062,471,965	55,300,629,224	△ 238,157,259
有形固定資産	20,861,824,844	21,598,769,937	△ 736,945,093
その他の固定資産	34,200,647,121	33,701,859,287	498,787,834
流動資産	4,326,188,399	3,848,033,247	478,155,152
資産の部合計	59,388,660,364	59,148,662,471	239,997,893
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	4,945,322,168	4,990,836,935	△ 45,514,767
流動負債	1,893,068,304	1,708,803,641	184,264,663
負債の部合計	6,838,390,472	6,699,640,576	138,749,896
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	41,801,942,209	41,936,272,428	△ 134,330,219
第3号基本金	29,745,711,964	29,713,188,514	32,523,450
第4号基本金	672,000,000	672,000,000	0
基本金の部合計	72,219,654,173	72,321,460,942	△ 101,806,769
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	19,669,384,281	19,872,439,047	△ 203,054,766
消費収支差額の部合計	△ 19,669,384,281	△ 19,872,439,047	203,054,766
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	59,388,660,364	59,148,662,471	239,997,893

平成23年度 第19回大阪歯科大学公開講座

「いつまでも魅力的であるために」

平成23年9月3日(土)

平成23年9月10日(土)

①お母さんが知りたい矯正治療

③ライフステージにあわせた虫歯予防

西浦亜紀(矯正)

田中順子(有歯補綴)

②義歯で美味しく若々しく

④女性特有の歯周病ってあるの

川本章代(高齢)

緒方智壽子(歯周)

(天満橋学舎附属病院午後1時から)

平成 23 年度 解剖体慰霊祭

新緑の五月晴れの中、5月20日(金)午後2時より四天王寺五智光院において、平成21年度解剖体慰霊祭が500名を超える参列のもと、厳かに執り行われた。

開会前の喧騒が導師入堂を告げる半鐘の音により、瞬く間に式場全体が荘厳な静寂に包まれ、その静寂な中、導師入堂に合わせて開式の言葉が述べられた後、解剖学講座諏訪主任教授から祭文が奉読された。荘厳な読経の中、尊いご遺体を捧げられた御霊のご冥福を祈念して参列者一同、焼香を行った。続いて、大阪歯科大学を代表して川添理事長・学長から、歯科医学の教育研究発展のため篤志をもってご献体いただいた故人、ご遺族ならびにご協力を賜っている黄菊会会員の方々に深甚なる謝意が表され、献体者^故櫻根エミ殿ほか5名のご遺族に対して文部科学大臣感謝状が授与された。最後に、学生を代表し第3学年の和唐薫子さんが解剖実習を無事終えたことへの感謝のこぼを霊前に寄せ、参列した学生全員が立礼をして感謝の気持ちを表した。

慰霊祭終了後、ご遺族ならびに各参列者は元三大師堂の本学慰霊碑前へ移動して回向を行った。また、黄菊会第39回総会が開催され、議事どおり終了した。

寄 贈

下記の寄贈を受けましたので報告します。寄贈いただいた各位には心より感謝いたします。

- ・豊田 紘一名誉教授
定年退職を記念して 平成 23 年 3 月 30 日寄贈
大阪歯科大学創立 100 周年記念事業基金として
1,000,000 円
- ・上田 雅俊名誉教授
定年退職を記念して 平成 23 年 3 月 31 日寄贈
大阪歯科大学創立 100 周年記念事業基金として
1,000,000 円
- ・大阪歯科大学紫媛会
紫媛会 50 周年を記念して 平成 23 年 6 月 30 日寄贈
100,000 円

薬物乱用防止講演会開催

6月24日(金)午後4時10分から、全学学生を対象にした「薬物乱用防止講演会」が楠葉学舎講堂で開催され、学生・教職員が多数参加した。

大阪府警察本部の薬物対策課の係官が1時間余り、覚せい剤、大麻など規制薬物の説明と常用者の事例をまじえて、時には学生に質問しながら、ちょっとした誘惑で薬物に手を出すことで本人はもとより家族、友人など周りのすべての人々に心労を与え、迷惑をかける現実を報告した。規制薬物に手を出すことは日本だけでなく諸外国においても犯罪行為であり、将来、医療に従事するという社会的責任を十分に自覚し、強い自制心を持つことが大事であると話された。元学生が薬物不法所持で逮捕されるという、あってはならない事件のこともあり、学生たちは真剣な眼差しで係官の話を聞いていた。



歯の衛生週間「カバの歯磨き」

歯の衛生週間（6月4日～10日）初日の4日（土）、本学の菊池優子先生ら4名が和歌山県白浜の「アドベンチャーワールド」でカバの歯磨きを子供たちと一緒にやった。カバ君は18歳で体重2トン、最初はなかなか口をあけてくれませんでした。子供たちの声援もあって大きな口を「あーん」。カバ君の40本の歯を検診した後、1mの専用ブラシで歯磨きをした。専用ブラシには、大阪歯科大学100周年記念マスコット「ししん（歯神）さん」のマークが入っていた。

カバの歯磨きの後、子供たちは広場に集まり青空の下、大学院の中島有佳子先生らによる歯ブラシ指導を受けた。



神原教授の基調講演が読売新聞に掲載

読売新聞社と日本歯科医師会が主催する第9回「デンタルヘルス・シリーズ」シンポジウムが5月15日東京で開催され、口腔衛生学講座の神原正樹教授が基調講演を行い、その内容が6月4日の読売新聞に掲載されました。今回は「口の豊かさがあらゆる社会を健康にする～活力ある社会を実現するために～」をテーマに開催され、神原教授は「口の健康、いま、これから」と題して基調講演を行い、シンポジウムにおいてもパネラーとして一つひとつの質問に丁寧に解説を交えて回答しました。



基調講演で、神原教授は10年前の時点で過去30年間に世界的に見ても虫歯の数が1本前後と驚異的に減少しており、こうした例は他の疾患では見当たらないと述べ、また独自に行った調査から世代別に増齢に伴う虫歯の変化の違いがあることを示しました。また、その調査から残存歯数と平均寿命に相関関係があることを示しました。虫歯が改善された要因として歯磨きの習慣が定着したことをデータで示し、その背景には日本人の健康志向があったと述べています。

今後の歯科医療は予防が中心となり、今はその転換期にあると述べました。

松本教授 KBS 京都テレビに出演

歯科矯正学講座の松本尚之教授が、KBS京都テレビ4月9日（土）放送の「歯っぴーライフ」に出演し、矯正治療の役割について解説しました。「歯っぴーライフ」は、毎月第2土曜日の午後5時から30分間放送されている番組で、タイトルのとおり「歯」に関する情報番組です。松本教授は、アナウンサーの質問に答える形で小児期における咬合育成の必要性と包括歯科医療にお



株式会社 三井住友銀行 様
 株式会社 三菱東京UFJ銀行 様
 モトナガ株式会社 様
 株式会社 モリタ 様
 「黎明会」(大学38回) 様
 和田精密歯研株式会社 様

○個人 (ア行)

合田 耕太郎 様 相原 有理 様
 青江 俊介 様 青木 茂樹 様
 赤石 孝博 様 赤尾 一成 様
 赤羽 稔 様 朝井 功 様
 浅井 加雄 様 浅野 透 様
 芦田 克巳 様 足達 慶輔 様
 安達 舜治 様 安達 忠司 様
 安達 久代 様 足立 裕亮 様
 天野 仁一郎 様 天野 義和 様
 雨宮 幸三 様 新井 是宣 様
 有田 清三郎 様 有馬 幸宏 様
 有山 金一郎 様 井伊 かず代 様
 飯田 拓二 様 池田 直也 様
 池田 祐治 様 池田 能子 様
 池田 良則 様 井阪 幹生 様
 五老海 輝一 様 石浦 和子 様
 石川 春美 様 石川 美晴 様
 石崎 好洋 様 石津 裕章 様
 石原 健也 様 板垣 恵輔 様
 板倉 紘一 様 市場 寛人 様
 一宮 正義 様 逸崎 宏 様
 井手 一夫 様 井出 博文 様
 出射 靖生 様 伊藤 公雄 様
 伊東 正記 様 糸山 昇 様
 稲川 実 様 稲田 貴代美 様

稲村 宗男 様 犬伏 幸代 様
 井上 エツ子 様 井上 崇 様
 井上 宏 様 揖場 克次 様
 今津 英文 様 今西 正雄 様
 今村 文四郎 様 入江 隆子 様
 岩井 廣茂 様 岩井 康智 様
 岩城 正弘 様 岩崎 荊路 様
 岩本 助幸 様 岩本 吉則 様
 上田 一郎 様 上田 直克 様
 上田 雅俊 様 上田 実果 様
 上野 亜希子 様 上村 守 様
 内海 潔 様 内海 順夫 様
 宇野 昭信 様 梅崎 晋吾 様
 梅谷 元一 様 梅村 智 様
 江口 宗昭 様 江藤 隆徳 様
 王 宝禮 様 大上 登 様
 大浦 清 様 大川 勝 様
 大口 直輝 様 大久保 直 様
 大塩 譲 様 大島 輝武 様
 大島 浩 様 太田 一男 様
 太田 恵一 様 太田 謙司 様
 太田 利光 様 大谷 雅昭 様
 大谷 昌宏 様 大槻 榮人 様
 大西 愛 様 大西 和典 様
 大西 亮太郎 様 大野 直人 様
 大畑 裕彦 様 大本 博 様
 岡 邦恭 様 小懸 泰道 様
 岡崎 景 様 岡崎 定司 様
 岡田 眞廣 様 岡正 利一 様
 岡村 敬次 様 岡本 圭史 様
 岡本 新 様 岡本 吉司 様
 岡本 義隆 様 岡山 廣樹 様
 小川 雅央 様 沖田 和久 様

ODU NEWS No.162

奥田 昌義	様	奥野 薫	様
奥野 一吉	様	奥村 洋二	様
小谷 泰生	様	小野 雅央	様
鉢田 豊	様	小野山 薫	様
小幡 登	様	小渕 富美子	様
尾松 みどり	様		

○個人(力行)

加奥 奏哉	様	垣内 英也	様
柿原 理奈	様	覚道 健治	様
笥 晋平	様	加地 公夫	様
梶 貢三子	様	梶野 大典	様
柏木 宏介	様	梶原 公彦	様
片岡 壽平	様	椋 則章	様
勝藤 大輔	様	加藤 イツ子	様
加藤 裕彦	様	嘉藤 幹夫	様
門田 紀	様	角野 博俊	様
金谷 恵大朗	様	金子 充親	様
金平 裕久美	様	鎌田 愛子	様
亀井 崇	様	亀水 忠茂	様
亀水 忠宗	様	蒲生 祥子	様
鴨打 俊治	様	川合 進二郎	様
川井 弘之	様	河合 正治	様
河合 泰則	様	川上 隆彦	様
川添 堯彬	様	川添 優子	様
河野 節	様	河野 亘	様
川本 博男	様	神田 昇平	様
岸保 文雄	様	菊地 賢司	様
菊池 宣夫	様	岸本 瑞穂	様
喜多侯夫・一夫	様	木谷 琢郎	様
北野 廣昭	様	北村 博司	様
北山 恵美子	様	鬼頭 俊雄	様
木下 保	様	木下 浩志	様

木原 卓司	様	木原 秀文	様
木村 圭助	様	木村 公一	様
木村 隆次	様	九鬼 佐和子	様
国富 昌司	様	久保 茂正	様
久保 大樹	様	熊崎 眞義	様
久門田 俊治	様	倉知 正和	様
栗岡 一人	様	栗田 賢一	様
黒瀬 信隆	様	黒田 収平	様
黒松 裕喜秀	様	桑木 幹生	様
桑原 茂久	様	小石 雅也	様
小石 淑子	様	小出 武	様
高津 匡雄	様	合田 興世	様
合田 征司	様	高田橋 美幸	様
河野 多香子	様	河野 通久	様
河見 忠雄	様	高麗 誠紀	様
小谷 順一郎	様	小林 直克	様
小林 三男	様	小正 裕	様
近藤 幹雄	様	近藤 豊	様

○個人(サ行)

齋藤 俊司	様	酒井 宏和	様
酒井 正道	様	左海 迪夫	様
坂尻 光春	様	阪田 収	様
阪田 昌英	様	坂谷 俊彦	様
坂野 貞恵	様	坂本 厚	様
坂本 宏充	様	阪本 充	様
阪本 義典	様	佐久間 勲	様
佐久間 泰司	様	佐古 好正	様
佐々木 久幸	様	佐藤 俊一	様
佐藤 武	様	佐藤 正樹	様
佐藤 学	様	讃岐 美津二	様
佐ノ木 幸夫	様	更谷 啓治	様
澤田 和長	様	重森 文弥	様

静間 紀佳	様	篠原 光子	様
島津 肇	様	島田 雅仁	様
清水 一彦	様	清水 謙	様
清水谷 公成	様	下田 照子	様
下村 錢三郎	様	庄 守	様
正司 武	様	白木 孝尚	様
新開 清司	様	新谷 弘子	様
新門 正昭	様	末瀬 一彦	様
末武 伸敏	様	杉江 利光	様
杉岡 伸悟	様	杉立 馨	様
杉本 菜穂子	様	鈴木 寛	様
住谷 道夫	様	諏訪 喜恵	様
諏訪 文恵	様	諏訪 文彦	様
関本 恵一	様	錢谷 豊文	様
添田 栄造	様	園本 美恵	様

田中 修	様	田中 順子	様
田中 資郎	様	田中 誠也	様
田中 忠幸	様	田中 巽	様
田中 照代	様	田中 俊正	様
田中 昌博	様	田中 靖人	様
田中 義人	様	田邊 嘉穂	様
谷 幸治	様	田幡 治	様
玉川 浩	様	田村 彰規	様
田村 功	様	田村 基政	様
丹田 修	様	丹田 裕子	様
千葉 亮	様	津尾 道雄	様
塚本 幸子	様	塚本 芳雄	様
柘植 昌保	様	辻 一起子	様
辻 準之助	様	辻 浩洋	様
辻林 徹	様	辻村 忠彦	様
辻本 孝光	様	辻本 守孝	様
津田 進	様	津谷 良	様
土屋 健司	様	筒井 淳	様
椿井 琢光	様	椿本 九美夫	様
寺岡 靖之	様	寺田 明	様
寺西 義浩	様	土肥 哲彦	様
堂前 英資	様	堂前 尚親	様
頭山 高子	様	徳高 良造	様
土佐 淳一	様	戸田 伊紀	様
戸田 忠夫	様	戸堂 博之	様
富澤 正直	様	富田 基雄	様
富永 和也	様	豊田 紘一	様
豊田 俊	様	豊福 英市	様
鳥井 克典	様		

○個人(夕行)

大郷 英里奈	様	大東 道治	様
高井 規安	様	高尾 純子	様
高須 聡	様	高田 易典	様
高橋 一也	様	高橋 清	様
高橋 士朗	様	高橋 仁志	様
高橋 正生	様	高橋 康友	様
高山 泰幸	様	田川 宣文	様
田口 千洋	様	田口 洋見	様
田口 洋一郎	様	武市 甫	様
竹内 敬博	様	竹内 宏行	様
武田 元一	様	武田 昭二	様
竹歳 真人	様	竹村 明道	様
竹村 瑞桜	様	竹村 忠義	様
多田 逸	様	多田 雅宣	様
立花 京子	様	龍田 光弘	様
伊達 洋彦	様	田中 昭男	様

○個人(十行)

仲 秀俱	様	長井 圭作	様
中井 孝佳	様	永石 真幸	様

ODU NEWS No.162

中尾 辰義	様	中尾 昌彦	様
中川 智英子	様	中川 徹	様
中川 宏	様	長澤 健一	様
中嶋國博・悠子	様	中島 将亢	様
中嶋 正博	様	中島 有佳子	様
長砂 忠男	様	中田 仁成	様
中谷 祥二郎	様	中塚 昌伸	様
中塚 美智子	様	中辻 ときみ	様
中西 功	様	中西 淳一	様
仲西 健豊	様	中西 隆也	様
仲西 健樹	様	中西 宣	様
中西 久	様	中西 正泰	様
中西 洋介	様	中野 健一郎	様
中野 崇	様	中野 信雄	様
長野 豊	様	中橋 千加子	様
中原 一彰	様	中原 しのぶ	様
中道 哲	様	中村 祥子	様
中村 廣志	様	中村 誠之	様
名倉 重良	様	名定 通	様
成田 雅彦	様	難波 莊祐	様
難波 弘志	様	西海 啓之	様
西浦 亜紀	様	西岡 偉克	様
西川 泰央	様	西崎 宏	様
西嶋 克巳	様	西嶋 耕治	様
西田 拓史	様	西堤 京子	様
西出 修	様	西原 義昭	様
西村 恵司	様	西村 暢宏	様
西村 満夫	様	新田 賢	様
二宮 隆	様	仁保 光昭	様
根住 正博	様	野上 敦史	様
野上 清豪	様	野上 福秀	様
野上 松秀	様	ノグチ カツコ	様
野口 勝弘	様	野口 孝純	様

野崎 中成	様	野瀬 博之	様
野田 和伸	様	野田 知宣	様
野田 真	様	野田 美和子	様
農端 健輔	様	農端 俊博	様
野村 俊勝	様		

○個人(八行)

蠅庭 秀也	様	橋本 世津子	様
橋本 武	様	橋本 猛伸	様
橋本 典也	様	橋本 弘一	様
橋本 芳紀	様	長谷川 信也	様
長谷川 博	様	長谷山 則夫	様
羽田 実	様	羽田 恭彦	様
花谷 正明	様	馬場 俊輔	様
濱口 陸郎	様	林 秀茂	様
林 弘子	様	林 宏行	様
林 正純	様	林 義清	様
原 和子	様	原 久史	様
伴 宏樹	様	東野 隆	様
光 司郎	様	疋田 芳寛	様
樋口 恭子	様	樋口 淳一	様
肥後 文章	様	人見 権次郎	様
日野 哲雄	様	廣畑 顕一	様
深尾 章	様	福井 和枝	様
福澤 美智子	様	福成 文隆	様
福原 良治	様	福本 穂高	様
福家 秀一	様	福家 堯	様
藤井 諭	様	藤井 章司	様
藤井 隆晶	様	藤井 孝政	様
藤井 辰彦	様	藤井 弘之	様
藤岡 俊二	様	藤田 暁	様
藤高 洋一	様	藤野 明	様
藤野 英子	様	藤野 智子	様

藤林 由利安	様	藤本 嘉治	様
藤原 眞一	様	藤原 進	様
船橋 洋一	様	古市 憲史	様
古市 史子	様	古川 順康	様
古川 壽男	様	別當 敏	様
逸見 利也	様	逸見 智康	様
逸見 浩史	様	逸見 美登里	様
方 一如	様	細井 敦子	様
堀田 雄一	様	堀切 卓	様
堀口 靖史	様	本城 範典	様

光安 良重	様	三戸岡 直樹	様
南 利哉	様	峰田 深佐子	様
宮井 芳二	様	宮内 雄平	様
宮尾 憲明	様	宮崎 哲	様
宮崎 均	様	宮本 美千子	様
向井 和之	様	宗金 龍二	様
村井 紳	様	村上 晃	様
村上 斎	様	村上 昌央	様
村上 勝	様	村上 義和	様
村上 よし子	様	村田 省三	様
村山 寛治	様	門司 研一	様
元林 大	様	森 芳雄	様
守内 真澄	様	森岡 聡	様
森川 良一	様	守下 綾香	様
森島 秀一	様	森田 章介	様
守田 忠正	様	森鼻 健史	様
諸井 英世	様		

○個人(マ行)

前川 英太郎	様	前岨 亜優子	様
前田 衛大	様	前田 孝一郎	様
前田 耿二・美貴子	様	前田 眞治	様
前田 光代	様	前野 隆	様
牧浦 斉	様	槇田 一輝	様
牧田 佳真	様	牧谷 弘幸	様
牧平 幹生	様	真喜屋 恒代	様
増田 次郎	様	増田 裕弘	様
榎谷 多紀子	様	益野 一哉	様
松井 康彦	様	松島 悌二	様
松田 毅	様	松田 佳子	様
松谷 哲博	様	松永 悦治	様
松原 正治	様	松前 静	様
松本 和子	様	松本 和浩	様
松本 圭右	様	松本 島春	様
松本 修二	様	松本 尚之	様
松本 仁	様	松山 博史	様
真鍋 憲夫	様	丸橋 琇一	様
箕浦 紗恵	様	箕浦 陽一	様
三上 正彦	様	三木 康平	様
水野 順	様	水井 雅則	様

○個人(ヤ行)

薬師寺 毅	様	安井 照治	様
安井 宏之	様	保田 宗茂	様
矢谷 憲一郎	様	矢谷 慎一郎	様
矢谷 正公	様	梁川 国昭	様
柳田 昌宏	様	矢野 一郎	様
矢部 公典	様	山内 健夫	様
山岡 恵美	様	山岡 忍	様
山形 栄二	様	山上 剛史	様
山崎 信義	様	山下 敦	様
山田 香	様	山田 耕治	様
山田 重樹	様	山田 尋士	様
山田 裕	様	山田 隆一	様
山羽 義信	様	山本 晃也	様
山本 一世	様	山本 佳津	様

山本 敏弘	様	山本 範子	様
山本 嘉治	様	山本 良介	様
山脇 頌子	様	山脇 裕	様
結城 剛己	様	横田 圭子	様
横田 憲男	様	吉川 一志	様
吉田 博昭	様	吉田 良子	様
吉田 隆一	様	吉福 亜紀	様
吉村 里美	様	吉村 敏行	様
吉本 一馬	様	四井 資隆	様
四元 尚子	様	米田 尚弘	様
米田 正器	様		

○個人(ワ行)

涌本 昇	様	和田 喜久雄	様
渡内 信嘉	様	渡邊 充春	様
綿谷 和也	様	和唐 功	様
和唐 雅博	様		

人 事

称号授与

名誉教授	豊田 紘一
名誉教授	大東 道治
名誉教授	上田 雅俊
以上	H. 23. 4. 1付

新 任

副学長	諏訪 文彦
学生部長	川合進二郎
附属病院副病院長	田中 昌博
以上	H. 23. 4. 1付

教員採用

口腔インプラント科	専任教授	馬場 俊輔
人権教育室	講師	李 嘉永
生理学講座	助教	諏訪部 武
細菌学講座	助教	円山 由郷

歯科保存学講座	助教	恩田 康平
口腔外科学第二講座	助教	森下 寛史
口腔インプラント科	助教	上村 直也
	以上	H. 23. 4. 1付

昇 任

人権教育室	専任教授	樫 則章
物理学	講師	一宮 正義
口腔解剖学講座	講師	上田 甲寅
歯科理工学講座	講師	橋本 典也
口腔外科学第一講座	講師	松本 和浩
口腔外科学第一講座	講師	山田 耕治
口腔外科学第二講座	講師	蠅庭 秀也
	以上	H. 23. 4. 1付
有歯補綴咬合学講座	准教授	更谷 啓治
		H. 23. 6. 30付

移行任用

口腔インプラント科	准教授	井上 雅裕
	以上	H. 23. 4. 1付

職員採用

附属病院	放射線技師主任	笹垣三千宏
図書課	事務職員	青山 知世
教務学生課	事務職員	藤墳 裕志
	以上	H. 23. 4. 1付
附属病院	看護師	田村 綾子
		H. 23. 6. 1付

再雇用

附属病院	放射線技師	櫻井 邦昭
附属病院	歯科技工士	佐藤 繁男
附属病院	歯科技工士	永井 利明
	以上	H. 23. 4. 1付

昇 進

中央歯学研究所事務室	主任	村上よし子
大学庶務課	主任	稲田貴代美
	以上	H. 23. 4. 1付

所属異動

法人事務部	事務職員	小谷 泰生
大学院課	事務職員	岡田久美子
病院庶務課庶務担当	事務職員	武田 茂
病院庶務課庶務担当	事務職員	吉福 亜紀
病院庶務課卒後研修担当	事務職員	山岡 忍
医事課	事務職員	岡本 安子
医事課地域医療連携担当	事務職員	藤田満里子
	以上	H. 23. 4. 1付

兼 務

医事課地域医療連携担当 課長 今道 裕之
H. 23. 4. 1付

退 職

附属病院 看護助手 諸岡 光子
H. 23. 5. 13付
内科学講座 助教 森口久美子
有歯補綴咬合学講座 准教授 更谷 啓治
以上 H. 23. 6. 30付

委 嘱

客員教授 山下 敦, 末瀬 一彦
熊崎 護, 二階 宏昌
北條 博一, 螺良 愛郎
有田清三郎

Honorary Visiting Professor

Nairn Hutchison Fulton Wilson

Visiting Professor

Chitta Ranjan Choudhury
金 岩, 朴 榮 國
申 濟元, 金 麗甲
Mark McGurk, 飯塚 建行
以上 H. 23. 4. 1付

客員講師

永田 昇
H. 23. 4. 1付

嘱託 カウンセラー

精神科医 森 悦子
畑 聡美

嘱託 臨床心理士

嘱託 医師

螺良 愛郎, 長央由里子
松本 考司, 梅垣 裕
奥田 隆彦, 西村 哲哉
永井 由巳, 竹田 浩子
津野 隆哉, 中澤 哲郎
城戸 晴規
以上 H. 23. 4. 1付

医療嘱託

補綴咬合治療科 (有歯) 谷岡 款相
医療保険担当 上田 雅俊
以上 H. 23. 4. 1付
保険委員会担当 牧野 利彦
臨床研修管理運営委員会担当 赤根 賢治
医事相談担当 津田 高司
以上 H. 23. 5. 1付

委員会外部委員

治験委員会 植木 哲
H. 23. 4. 1付

臨床研修管理運営委員会

徳永 徹, 森川 充康
以上 H. 23. 5. 1付

臨床教授

江藤 隆徳
H. 23. 4. 1付

臨床講師

江原 雄二, 岡 卓爾, 岡 正樹
佐々木 昇, 窪田 好, 玉置 敏夫
諸井 英徳, 諸井 香利, 野淵 秀孝
野淵 秀, 野淵 美和, 有山喜七郎
徳永 徹, 田口 洋見, 田口 千洋
大塚 俊裕, 安田 康治, 小川 清二
平山 富興, 岡田 隆夫, 山崎 弘士
伊藤 公人, 中川 敏, 河野 渡
河野 慈圓, 魚住 智子, 石原 信彦
副島 之彦, 上り口寛武, 上り口晃成
中川 豪晴, 大森 義弘, 大槻 榮人
瓦井真貴子, 藤田 宏人, 金尾 好章
陳 明裕, 田畑 勝彦, 岡本 光司
牧草 一人, 岡村 大, 山崎 一郎
山崎 行庸, 森川 勝, 森川 充康
黒木 克哉, 岩間總一郎, 赤根 昌樹
青木 誠喜, 青木 亜利, 小池 宏忠
仁木 繁憲, 三上 淑子, 三上 豊
糸田 昌隆, 貴島真佐子, 横田 允宏
川野 雅也, 山本 晴彦, 八竹 雅美
速水 茂, 杉並亜希子, 藤原 成樹
新田 朋弘, 大塚 健司, 上田 祐嗣
上田 佳世, 廣畑 頭一, 辰野 隆
安部 逸世, 今上 英樹, 山田 実抄
吉見 哲朗, 前田 力也, 吉次 良師
館野 哲朗, 三宅 勝俊, 六本 裕嗣
桑原 茂久, 田中 智之, 宋 徳成
中井 正徳, 岡本 吉宏, 九鬼佐和子
以上 H. 23. 4. 1付

病院医員

保存修復科 市丸 裕理, 田口万友美
夏木佐和子
歯内治療科 隠岐 知達, 木村 麗子
杉本 涉, 吉村 真愛
会坂 尚美
歯周治療科 太原 秀夫, 神田 佳美
坂 江里子, 菱川 泰夫
浦川久美子, 橋上 英美

ODU NEWS No.162

高齢者歯科	渋谷 友美, 道明 千朱 安田 麻美, 田伏 祐子 藤田 和己, 藤田 貴士	吉川 一志, 橋本 典也 川本 章代, 吉川 美弘 秋山 広徳
補綴咬合治療科(有歯)	上田 梨恵, 藤木 傑 中島 俊輝, 藤野 寛暁 藤林 学, 田中 雅章	以上 H. 23. 4. 1付 セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員 川合進二郎
補綴咬合治療科(欠損)	市川由紀子, 茨木 茜 岩崎 千恵, 杉本 明子 高尾 梨沙, 野網 優子	H. 23. 4. 1付 サイバーキャンパス審議委員会委員長 山本 一世
口腔外科第1科	唐井 聡, 坂田 岳一 田中 洋充, 松田彩起子 溝畑 和恵, 小川裕美子	H. 23. 4. 1付 ホームページ委員会委員長 山本 一世
口腔外科第2科	赤峯 勇哲, 井上 洋士 伊達岡 聖, 室井 悠里 砂田 典子, 森 悠衣	H. 23. 4. 1付 財務企画委員会 病院の運営に関する 事項部会部会員 田中 昌博 財務企画委員会 牧野学舎将来計画 作業部会部会員 諏訪 文彦
矯正歯科	片尾 祐子, 箕浦 沙恵 宮尾 聖子, 柳川 恵	以上 H. 23. 4. 27付 退職資金管理運営委員会委員 長谷山則夫
口腔インプラント科	稗田 彩人, 深瀬 亜希 大口 直輝, 角倉 毅	H. 23. 4. 27付 環境管理委員会委員 川合進二郎
小児歯科・障害者歯科	大島 健生, 国本 絢子	H. 23. 4. 27付 枚方資料センター管理運営委員会委員 川合進二郎
歯科麻酔科	木下 郁恵, 河見 有恵 山本 直子	H. 23. 4. 27付 予算委員会委員長 下村錢三郎
臨床研修教育科	平田 康裕, 松田 敏治	予算委員会委員 川添 堯彬, 田中 昭男
総合診療・診断科	山本 具美, 中井 智加 以上 H. 23. 4. 1付	諏訪 文彦, 覚道 健治 藤野 明, 伊達 洋彦
ポストドクトラルフェロー		神原 正樹, 小正 裕
歯科麻酔科	稲村 吉高, 岸本 直隆 以上 H. 23. 4. 1付	大浦 清, 福島 久典
図書資料選択委員会委員	富永 和也 H. 23. 4. 1付	西川 泰央, 川合進二郎
健康管理委員会委員	川合進二郎 H. 23. 4. 1付	長谷山則夫, 前野 隆 亀井 崇, 中尾 昌彦
学生部委員会委員長	川合進二郎	以上 H. 23. 4. 27付
学生部委員会委員	佐ノ木幸夫, 樫 則章 以上 H. 23. 4. 1付	自己点検実施委員会 病院部門委員 田中 昌博 H. 23. 4. 27付
学内食堂管理運営委員会委員長	川合進二郎 H. 23. 4. 1付	ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員 川合進二郎, 佐ノ木幸夫 大久保 直
国際交流部委員会委員 (欧米担当)	藤田 淳一	以上 H. 23. 4. 27付
国際交流部委員会委員 (アジア担当)	方 一如 以上 H. 23. 4. 1付	人権啓発推進委員会委員 川合進二郎, 樫 則章 李 嘉永, 野中登貴男
学生国際交流小委員会委員長	岡崎 定司	以上 H. 23. 4. 27付
学生国際交流小委員会委員	藤田 淳一, 方 一如	個人情報保護委員会委員 川合進二郎 個人情報保護委員会大学部門委員会委員長

個人情報保護委員会大学部門委員会委員
諏訪 文彦

川合進二郎

個人情報保護委員会病院部門委員会委員
田中 昌博

以上 H. 23. 4. 27付

大阪歯科大学創立100周年記念事業常任委員会
常任委員 川合進二郎, 田中 昌博

以上 H. 23. 4. 27付

大阪歯科大学創立100周年記念事業実行委員会
《記念式典・祝宴・慰霊祭》

実行委員長 覚道 健治

メンバー (委員) 藤野 明, 前田 眞治
諏訪 文彦, 上田 雅俊
清水谷公成, 末瀬 一彦
王 宝禮

事務局 (事務担当) 亀井 崇, 前野 隆
牧谷 弘幸, 高須 聡
今道 裕之, 松村 誠一

《本学発祥の地・記念碑設置》

実行委員長 下村錢三郎

メンバー (委員) 覚道 健治, 古川 壽男
上田 雅俊, 林 宏行
清水谷公成, 山本 一世
田中 昌博

事務局 (事務担当) 長谷山則夫, 安藤 孝幸
森田 恭生, 松村 誠一

《記念事業募金》

実行委員長 川添 堯彬

メンバー (委員) 三谷 卓, 伊達 洋彦
上田 雅俊, 神原 正樹
森田 章介, 小谷順一郎
岡崎 定司, 藤原 眞一

事務局 (事務担当) 前野 隆, 中尾 昌彦
安藤 孝幸, 稲留 誠

《記念講演会・公開講座》

実行委員長 諏訪 文彦

メンバー (委員) 藤野 明, 大浦 清
福島 久典, 神原 正樹
佐ノ木幸夫, 岩井 康智
馬場 俊輔

事務局 (事務担当) 東野 隆, 池田 良則
牧谷 弘幸, 東 眞一郎

《大学100年史・大学院50年史(出版物)》

実行委員長 田中 昭男

メンバー (委員) 橋本 猛伸, 西川 泰央
森田 章介, 川合進二郎
松本 尚之, 武田 昭二
田中 昌博

事務局 (事務担当) 長谷山則夫, 安藤 孝幸
西堤 京子, 池田 良則
高橋 和代, 松村 誠一
西嶋 耕治

《歯科医学の歴史的資料 (史料) 収集》

実行委員長 覚道 健治

メンバー (委員) 北條 博一 玉置 敏夫
小谷順一郎 前田 照太
江藤 隆徳 樫 則章
小出 武

事務局 (事務担当) 亀井 崇 池田 良則
牧谷 弘幸 東 眞一郎
以上 H. 23. 4. 27付

大阪歯科大学創立100周年記念館(仮称)
三谷 卓
H. 23. 6. 23付

大阪歯科大学創立100周年記念館(仮称)
建設委員会委員
建設委員会副委員長 川合進二郎
H. 23. 4. 27付

第一学年 学年指導教授 藤原 眞一
助言教員 一宮 正義, 藤田 淳一
牧田 佳真, 檜枝 洋記
野田 知宣, 岡村 英幸
津田 進, 辻林 徹

第二学年 学年指導教授 西川 泰央
助言教員 戸田 伊紀, 上村 守
中塚美智子, 上田 甲寅
内橋 賢二, 平野俊一朗
合田 征司 吉川 美弘

第三学年 学年指導教授 武田 昭二
助言教員 真下 千穂, 南部 隆之
戸田 雅裕, 大谷 政博
西川 哲成, 和唐 雅博
橋本 典也, 土居 貴士

第四学年 学年指導教授 松本 尚之
助言教員 川崎 弘二, 緒方智壽子

第五学年 学年指導教授
特別アドバイザー

民上 良将, 更谷 啓治
田中 順子, 松本 和浩
安東佳代子, 四井 資隆
山本 一世
岩田 有弘, 柿本 和俊
西崎 宏, 吉峰 茂樹
井関 富雄, 中嶋 正博
西浦 亜紀, 蓮舎 寛樹
嘉藤 幹夫, 吉田 匡宏
古跡 孝和, 有田清三郎
王 宝禮

第六学年 学年指導教授
特別アドバイザー

岡崎 定司
竹村 明道, 吉川 一志
井上 博, 高橋 一也
田村 功, 吉田 博昭
今井 弘一, 飯田 拓二
大島 浩, 兼平 治和
篠原 光子, 柏木 宏介
上田 甲寅, 大西 祐一
富永 和也, 馬場 忠彦
山根 一芳, 高津 兆雄
三宅 達郎, 加藤 裕彦
竹安 正治, 有田清三郎
以上 H. 23. 4. 1付

学友会会長
佐ノ木幸夫
H. 23. 4. 1付

大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修プログラム

総括責任者 覚道 健治
副総括責任者 森田 章介, 林 宏行
田中 昌博
院内研修担当者部会長 松本 尚之
院外研修担当者部会長 小出 武
保存系責任者 林 宏行
補綴系責任者 岡崎 定司
口腔外科系責任者 森田 章介
単独型プログラム責任者 前田 照太
単独型副プログラム責任者 紺井 拡隆
複合型プログラム責任者 山本 一世
複合型副プログラム責任者

岩田 有弘, 畠 銀一郎
河野 智生, 高橋 一也

指導歯科医(単独型)

楠本 哲次, 西崎 宏
吉田 博昭, 中嶋 正博
西浦 亜紀, 古跡 孝和
嘉藤 幹夫, 百田 義弘
井上 雅裕, 米田 護
小川 文也, 大井 治正
北野 忠則, 菊池 優子
岩田 有弘, 吉川 一志
畠 銀一郎, 至田 宗泰
河野 智生, 高津 兆雄
柿本 和俊, 伊崎 克弥
楠本 哲次, 佐藤 正樹
西崎 宏, 吉峰 茂樹
吉田 博昭, 中嶋 正博
古跡 孝和, 嘉藤 幹夫
百田 義弘, 井上 雅裕
米田 護, 米谷 裕之
吉川 一志, 谷本 啓彰
初岡 昌憲, 鈴木康一郎
西田 尚敬, 竹内 撰
至田 宗泰, 西川 郁夫
池永 英彰, 稲本 雄之
高津 兆雄, 緒方智壽子
民上 良将, 田口洋一郎
柿本 和俊, 伊崎 克弥
樋口 裕一, 小野 圭昭
井上 太郎, 川本 章代
田中 栄士, 更谷 啓治
柏木 宏介, 佐藤 正樹
鳥井 克典, 土佐 淳一
田中 順子, 藤井 孝政
兼平 治和, 吉峰 茂樹
呉本 晃一, 山本さつき
奥田 恵司, 土居 聖
井関 富雄, 田伏 信
松本 和浩, 山田 耕治
佐野 寿哉, 福田あおい
岩井 理恵, 大西 祐一
堀井 活子, 窪 寛仁
後藤 基宏, 正重 裕一
蠅庭 秀也, 飯田 拓二
蓮舎 寛樹, 永木恵美子
板垣 恵輔, 四井 資隆

指導歯科医(複合型)

	蒲生 祥子, 園本 美惠 大東 希好, 人見さよ子 竹安 正治, 佐久間泰司 杉岡 伸悟, 加藤 裕彦 讚岐 拓郎, 安東佳代子 山田 裕, 金平裕久美 新井 是宣, 永目 誠吾 松本 晃一, 樋口 恭子 米谷 裕之, 辻 一起子 辰巳 浩隆, 大西 明雄 以上 H. 23. 4. 1付		
講師(非常勤)委嘱			
解剖学講座	清水 孝治, 蔵前 勝彦 疋田 芳寛, 島田 純治 中村 雅彦, 江原 雄二 大塚 拓三, 中道 哲 牧草 一人, 三宅 晴記 藤原 成樹, 松川 信夫 中辻 勇志, 池 宏海 田中 毅彦, 大野久美子 江原 大輔	口腔病理学講座	上野 眞徳, 逸崎 宏 野口 薫 奥野 夏樹, 前田満里子 新谷 牧, 岡村 敬次 松井 正剛, 川口 佳夫 武田 良一, 東浦 宏守 和田 聖二, 河原 康二 佐久間 勲, 筒井 淳 西村 泰典, 畑 慎太郎 堀 晋作, 田中 淳司 段 充, 川崎 昌英 井上 純一, 小川 敏 伊藤 康夫, 藤田 康一 山本 範子, 吉竹 弘行 松野 吉晃, 亀井 真紀 多々見敏章, 小幡 登 中沢 賢一, 廣畑 顕一 森 直樹, 石原 研 水川 健司, 西川 博之 河合 博, 河合 高弘 石川 協, 大草 修 森川 裕, 岡本 卓士 九門 好彦, 井上 博明 吉岡 三四, 宮田 敏生 坂本 伸人, 武内信二郎 高山 昭則, 河野 元一 村川 昇, 田地 陽一 狭川 正, 林 昭典 野阪ひとみ, 日高 厚 岩本 一哉
口腔解剖学講座	阪本 義之, 鄭 在泳 菊池 史郎, 多田 逸 荻田 雄紀, 山本 洋幸 松田 哲一, 椿井 孝芳 朱 成淑, 藤原 士郎 Rogelio Vilchis, 藤本 嘉治 富永 康彦, 脇坂 聡 芳本 忍, 榎村 光仁 長谷川彰則, 高井 規安 稲田 條治, 小山 なつ 吉村 佳博, 岩崎 精彦 宮尾 治樹, 村上 浩孝 岩住 征紀, 森 明彦 久保 研, 大塚 俊裕 田中 一弘	細菌学講座	川原 大, 五老海輝一 片岡 喜平, 三浦 康伸 森口 泰成, 上田 明博 寛 晋平
生理学講座	涌本 昇, 長澤 成明 畑下 芳史, 高石 佳知 小坂 広之, 高屋 毅史 中川 雅夫, 伊東 禎雄 倉阪 雅巳, 有山金一郎 岩佐 勝也, 田中 義人 天方 靖治, 前田潤一郎	薬理学講座	奥 忠之, 白石 雅照 今井 意晴, 野村 一夫 尾辻 淳, 藤井 由希 中川 哲也, 森野与史緒 熊崎 眞義, 村田 省三 井上 富夫, 小林 正憲 岡村 伸江, 奥村 信 日吉 紀子, 伊津 元博 平塚 靖規, 生内 信男
生化学講座		歯科理工学講座	
		口腔衛生学講座	

齒科保存学講座
 高島隆太郎，西川 学
 福井 敬和，小山内 惺
 井上 昌孝，谷 哲
 南 昌宏，藤原 秀樹
 三木 秀治，河村 昌哲
 藤田 昌弘，吉原 正晃
 妻野 純朗，廣瀬 泰明
 砂田 和久，宮地 秀彦
 廣瀬沙耶佳，林原 久盛
 岩本 圭司，白石 充
 大前 正範

口腔治療学講座
 塩見 聰，奥野 一吉
 細見 環，速水 茂
 巖 恭輔，上村 学
 寺田 行男，金村 成智
 河津 正文，山田 健藏
 薄 孝，逸見 浩史
 木村 喜彦，上田 佳世
 辻 一郎，吉川 伸
 堀 宏之，松田 孝之
 川村 和仁，下村 容規

齒周病学講座
 橋本 光示，本城 範典
 畠山 善行，神田 浩
 大塚 健司，林 正純
 西川 義公，英保 武志
 寺西 義浩，岡西 裕公
 釜谷 晋平，白井 健雄
 南林 繁良，中垣 直毅
 光山 誠，松田 正文
 實重 英仁，福永 剛士
 神田 順子，丹田 博巳

高齢者齒科学講座
 龜水 忠茂，宮 博文
 山田 昭治，浅井 加雄
 松尾 光至，大槻 榮人
 田中 球生，原 佳代子
 右遠 英悟，額田 和門
 芦田 貴司，北山 展弘
 浅井 崇嗣，上田 章浩
 水見 彰敏，藤岡宗之輔
 西岡 良子，龜水 忠宗

有齒補綴咬合学講座
 辻 功，太田 邦雄
 河野 亘，水井 雅則
 柳田 昌宏，長砂 孝

欠損齒列補綴咬合学講座
 德永 徹，仲西 健樹
 田中 誠也，今井 敦子
 上田 直克，佐古 好正
 木村 公一，朴 康銘
 林 明輝，大河 貴久
 谷岡 款相
 加藤 信次，・田 和也
 奥田 昌義，金村 福寿
 三谷 徹，吉峰美千代
 奥田 啓之，藤原 到
 恩地 良幸，池田 直也
 西川 敏文，吉川 洋史
 岡本 吉宏，島谷 肇
 上り口晃成，小林 将之
 村松 豪太，田村 佳則
 江藤 隆仁

口腔外科学第一講座
 連 利隆，島 盛隆
 大石 建三，大杉 泰敏
 栗林 信仁，佐々木 昇
 酒匂 潤，小渕 匡清
 植野 茂，井上 明洋
 杉本 圭介，卞 勝人
 黒田 卓，篠田 豊
 木下 智，松本 康宏
 辻 要，小川裕美子
 松島 由紀，福地 和秀

口腔外科学第二講座
 仁木 寛，有家 巧
 角熊 雅彦，赤根 昌樹
 杉立 光史，柚木 大和
 郷 真奈武，林 秀一
 鹿野 学，山崎 行庸
 岩崎 春美，栗田 賢一
 濱本 和彦，阪本 貴司
 本橋 具和，嶋田 景介
 高橋 典章，森 悠衣
 大浦 寿哉，犬伏 俊嗣
 笹岡 邦夫，中川 学
 金 漢俊，高橋 啓
 山田 尋士，大塚 重雄
 金 錫俊，関 詔夫
 壺内 建行，長屋 和也
 岡林 聰，速水 勇人
 本田 領，山本 昌宏

齒科矯正学講座

岡下慎太郎，玉田 亨
 荒垣 芳元，太田千佳子
 内海 潔，江原 昌弘
 山崎 章，川植 康史
 室井 誠，松本 義之
 釜田 博史，川崎 靖典
 坂本 健吾，林 靖久
 池本 博之，石井 信行
 大道 士郎，大谷 敬三
 梶本祐一郎，嘉ノ海龍三
 佐伯 克彦，白敷 慎也
 高松 恒美，大東 美穂
 中村 弘之，濱田 義彦
 原 直仁，保澤 静
 松尾 博之，三戸 應則
 山尾 雅朗，渡邊 景子
 渡邊 記代
 赤塚 正文，山下 智章
 中村 久美，藤 喜久雄
 足立 了平，河合 峰雄
 内海 潤，水野 誠
 姜 由紀，釜田 隆
 安留 輝之，松田 佳子
 孫 弘樹，弘兼 素子
 安東 大器，岸本 直隆
 熊谷 俊一，根住 直史
 濱中大三郎，岡崎 俊朗
 梅原 久範，米田 修
 薬師寺健太郎，奥田 恵子
 宮地 理彦，原川 奈梨
 金下 祐己

一般教育科目

文学 石黒 義昭
 心理学 永石 高敏
 社会学 平 英美
 総合基礎英語 平田 和彦，片岡 宏仁
 基礎講読 平田 和彦，片岡 宏仁
 上級会話・リスニング LEVESQUE Pierre
 Eric Schoenbrunn
 ドイツ語 武田 良材，大森 智子
 メディア論 山田 陽一
 基礎情報科学 福森俊一郎，野村 孝久
 体育実技 福田 厚治，山田なおみ

出井 章雅

講座所属外

外科学 稲本 俊，山城 大泰
 医事法学 平野 哲郎
 法医学・法歯学 吉本 寛司，池谷 博
 小林 正樹，一家 綱邦
 高坂 友和

小児科学 住本 真一
 皮膚科学 山崎 文和，是枝 哲
 精神科学 上野 千穂

兼担者

眼科学 岸本 直子
 口腔インプラント学 井上 雅裕
 歯科審美学 末瀬 一彦
 臨床直前教育 小出 武，松本 晃一

大学院歯学研究科

口腔衛生学 田中 秀直
 有歯補綴咬合学 糸田 昌隆
 欠損歯列補綴咬合学 三田 悟司
 歯科麻酔学 金田 一弘，金銅 英二
 大草 知佳，稲村 吉高
 以上 H. 23. 4. 1付

歯科技工士専門学校講師(非常勤)

長家 秀博，山田なおみ，佐ノ木幸夫
 藤田 淳一，吉田 隆志，武田 昭二
 橋本 典也，都賀谷紀宏，諏訪 文彦
 竹村 明道，戸田 伊紀，上村 守
 岩井 康智，隈部 俊二，中塚美智子
 飯田 慈子，藤原 眞一，川合進二郎
 樫 則章，西川 泰央，池尾 隆
 田中 昭男，福島 久典，神原 正樹
 田中 昌博，楠本 哲次，柏木 宏介
 佐藤 正樹，井上 雅裕，山田 裕
 佐藤 琢也，岡崎 定司，西崎 宏
 土居 聖，小正 裕，樋口 裕一
 松本 尚之，飯田 拓二，嘉藤 幹夫
 竹安 正治，山本 一世，鈴木康一郎
 清水谷公成，覚道 健治，森田 章介
 小谷順一郎，本多 正明，山下 恒彦
 方 一如，高橋 恵美，河村 龍三
 内木 雄一，加地 公夫，西村 謙
 篠崎 照泰，木本 吉昭，菊田 茂

